

関係専門学校校長 各位

全国高等学校長協会家庭部会
公益財団法人全国高等学校家庭科教育振興会
理事長 木次 慎一
(公印省略)

家庭に関する学科等で学ぶ生徒の進学機会の拡大等に係る要望及び調査について (依頼)

時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、当部会並びに振興会の諸事業に御支援、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当部会は、高等学校の家庭科教育振興を図ることを目的とした約1,900名の高等学校の校長を会員とする教育団体であり、振興会では、文部科学省後援の全国高等学校家庭科技術検定を主な事業として実施しています。

毎年、家庭に関する学科等^(※1)卒業者の進路状況調査を実施しており、その結果から、3割強の卒業生が専門学校に進学し、その中の約6割が家庭科で学んだ分野に進んでいます。また、家庭に関する学科等の多くは、学科での学びの定着を図るため、全国高等学校家庭科技術検定を取り入れています。

そこで、全国高等学校家庭科技術検定取得者に対する入学者選抜や経済的な優遇措置を要望するとともに、その実態を把握したく、下記のとおり調査を実施いたします。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

(※1) 農業に関する学科のうち生活科や、総合学科の家庭系列を含む

記

1 調査の目的

家庭に関する学科等で学ぶ生徒の学習成果に対する評価や経済的優遇措置の実態を調査し、その結果を全国の会員高等学校等に提供することにより、進学機会の拡大等に資するため。

2 調査を対象とする科等

貴校のうち次の分野の学科

■衛生分野 (調理、栄養、製菓、製パン等)

■教育・社会福祉分野 (保育、幼児教育、介護福祉、社会福祉等)

■服飾・家政分野 (服飾、和裁、ファッションデザイン、アパレル等)

3 回答方法等

【調査用紙】に記入のうえ、FAX送付先に送付。(鑑不要) 回答期限: 令和3年12月24日(金)

※該当する複数の学科を設置する専門学校で、学科により全国高等学校家庭科技術検定取得に対する評価や経済的優遇措置条件が異なる場合は、調査用紙をコピーして、学科ごとにご回答ください。

4 その他

回答いただきました内容は、全国の会員高等学校等に提供させていただきます。

また、調査結果の概要は、集計後に、全国専修学校各種学校総連合会を通じてお知らせする予定です。

5 添付書類

- ・家庭に関する学科等で学ぶ生徒の進学機会の拡大等についての要望書
- ・【調査用紙】 家庭に関する学科等で学ぶ生徒の進学機会の拡大等に係る調査

<問い合わせ先>
全国高等学校長協会家庭部会
事務局長 加藤 路子
電話 03-3261-0617
FAX 03-3288-1670
E-mail: all-kocho@kate

【調査用紙】

送付先 : 全国高等学校長協会家庭部会事務局 宛
 FAX 03-3288-1670 締切: 令和3年12月24日(金)

ア専門

学校名	学科名	電話番号
住所 〒 都道府県	記載者 職・氏名	

家庭に関する学科等で学ぶ生徒の進学機会の拡大等に係る調査

1 次の①～③の全国高等学校家庭技術検定（以下、家庭技術検定という）について、知っていますか。知っている場合は○を、知らない場合は×を記入してください。

①被服製作技術検定	②食物調理技術検定	③保育技術検定
-----------	-----------	---------

2 【令和4年度入学生対象】家庭技術検定取得者に対する貴校の入学者選抜及び経済的優遇措置について、下の(1)(2)に教えてください。表中の記号A～D及び四冠王、三冠王については以下の()に示します。

〔 A 被服製作技術検定(和服) B 被服製作技術検定(洋服) C 食物調理技術検定 D 保育技術検定
 ・四冠王…A～Dのすべての検定の1級合格者 ・三冠王…A～Cの検定の1級合格者 〕

(1) AO入試や推薦入試等の出願資格や選抜における加点等、入学者選抜における家庭技術検定取得者への配慮がありますか。下表のア～エで該当する記号に○を付けてください。イ・ウに○を付けた場合は、A～Dの記号に○を付け、[]に級の数字(例:1級は1)を記入してください。また、四冠王や三冠王についても該当する場合は、○を付けてください。エに○をつけた場合は、具体的に記入してください。

記号に○	対象となる検定の種類及び該当する級 (記号に○、[]に級の数字)	四冠王	三冠王
ア 出願資格や選抜における加点等はない。			
イ AO入試や推薦入試等の出願資格のひとつに定めている。	A [] B [] C [] D []		
ウ 入学者選抜において加点項目のひとつに定めている。	A [] B [] C [] D []		
エ その他			

(2) 家庭技術検定取得者に対する経済的優遇措置がありますか。下表のア～カで該当する記号に○を付けてください。イ～オに○を付けた場合は、A～Dの記号に○を付け、[]に級の数字(例:1級は1)を記入してください。また、四冠王や三冠王についても該当する場合は、○を付けてください。備考欄には、減免や奨学金の具体的内容を記入してください。カに○をつけた場合は、具体的に記入してください。

記号に○	対象となる検定の種類及び該当する級	四冠王	三冠王	備考(減免等の内容)
ア 経済的優遇措置は特になし。				
(例) ① 受験料の減免がある。	A [] B [1, 2] C [1, 2] D [1, 2]	○	○	左記の一つでも該当すれば全額免除
イ 受験料の減免がある。	A [] B [] C [] D []			
ウ 入学金の減免がある。	A [] B [] C [] D []			
エ 授業料の減免がある。	A [] B [] C [] D []			
オ 奨学金がある。	A [] B [] C [] D []			
カ その他				

◆ご協力、ありがとうございました。

【参考】

専門学校に対する家庭に関する学科等で学ぶ生徒の進学機会の拡大等に係る調査

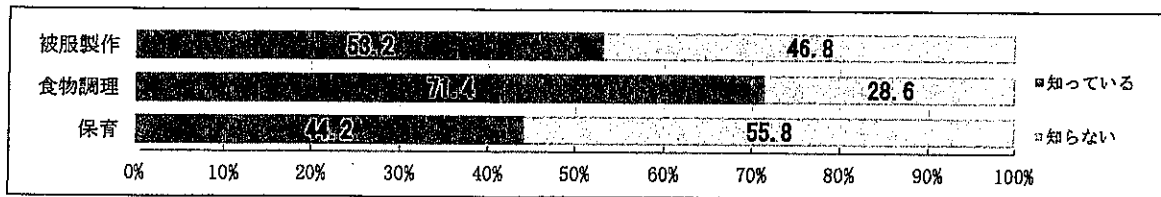
R2.10.1～R2.12.15 回答専門学校 77校（1都14県）

◆家庭科技術検定（被服製作技術検定、食物調理技術検定、保育技術検定）を知っているか、否か

	知っている		知らない	
	校数	%	校数	%
被服製作技術検定	41	53.2	36	46.8
食物調理技術検定	55	71.4	22	28.6
保育技術検定	34	44.2	43	55.8

【参考】R1年度 回答専門学校 87校（1都20県）

	知っている		知らない	
	校数	%	校数	%
被服製作技術検定	47	54.0	40	46.0
食物調理技術検定	64	73.6	23	26.4
保育技術検定	33	37.9	54	62.1

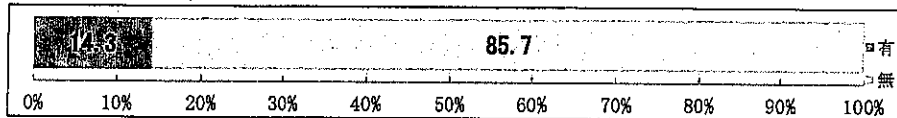


◆家庭科技術検定取得者に対する入学選抜及び経済的優遇措置

1 A0入試や推薦入試等の出願資格や選抜における加点等の配慮について

(1) 出願資格や選抜における加点等の有無

	校数	%
有	11	14.3
無	66	85.7



(2) (1)で「有」と回答のあった学校での配慮事項（複数回答）

配慮事項	校数
イ A0入試や推薦入試時の出願資格のひとつに定めている	2
ウ 入学者選抜において加点項目のひとつに定めている	6
エ その他	5

- ・参考資格としている。
- ・R3年度より自己推薦入試を開始した。
- ・選抜には学習意欲を重視する為、入試段階での加点とはしていない。但し被服製作技術検定の取得者は入学後、成績優秀な学生が多いことから取得は望ましい。
- ・面接試験において高等学校で取り組んだ実績として参考にする。
- ・次年度以降加点の対象として検討したい。

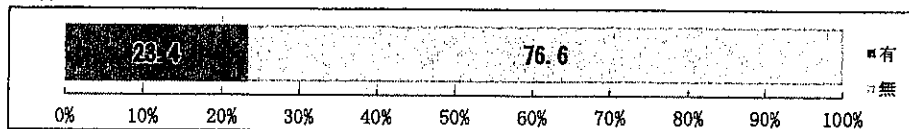
(3) (1)で「有」と回答のあった学校での対象分野（A～D）及び四冠王、三冠王

	A被服製作(和)	B被服製作(洋)	C食物調理	D保育	四冠王	三冠王
イ A0入試や推薦入試時の出願資格のひとつに定めている	2	2				
ウ 入学者選抜において加点項目のひとつに定めている	4	3	2	1	1	1
エ その他	5					

2 家庭技術検定取得者に対する経済的措置について

(1) 経済的な優遇措置の有無

	校数	%
有	18	23.4
無	59	76.6



(2) (1)「有」と回答のあった学校での内容及び対象分野

配慮事項	A被服製作(和)	B被服製作(洋)	C食物調理	D保育	計
イ 受験料の減免がある	1	1	1		3
ウ 入学金の減免がある	3	2	2	1	8
エ 授業料の減免がある	4	4	5	5	18
オ 奨学金がある	1	1	3		5